

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-517280

(P2017-517280A)

(43) 公表日 **平成29年6月29日(2017.6.29)**

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 2 3 K 50/40 (2016.01)	A 2 3 K 50/40	2 B 0 0 5
A 2 3 K 10/20 (2016.01)	A 2 3 K 10/20	2 B 1 5 0
A 2 3 K 20/163 (2016.01)	A 2 3 K 20/163	
A 2 3 K 40/25 (2016.01)	A 2 3 K 40/25	
A 2 3 K 10/30 (2016.01)	A 2 3 K 10/30	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 14 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2017-513329 (P2017-513329)	(71) 出願人	516347776
(86) (22) 出願日	平成27年5月19日 (2015.5.19)		ハンス・ユルゲン・ドイアラー
(85) 翻訳文提出日	平成29年1月18日 (2017.1.18)		ドイツ国 75015 ブレッテン, トゥルバンシュトラッセ 4
(86) 国際出願番号	PCT/EP2015/060982	(74) 代理人	100140109
(87) 国際公開番号	W02015/177138		弁理士 小野 新次郎
(87) 国際公開日	平成27年11月26日 (2015.11.26)	(74) 代理人	100075270
(31) 優先権主張番号	102014107054.2		弁理士 小林 泰
(32) 優先日	平成26年5月19日 (2014.5.19)	(74) 代理人	100101373
(33) 優先権主張国	ドイツ (DE)		弁理士 竹内 茂雄
		(74) 代理人	100118902
			弁理士 山本 修
		(74) 代理人	100106080
			弁理士 山口 晶子

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 肉をベースとする濃縮飼料を製造するための方法、肉をベースとする濃縮飼料、および肉をベースとする動物用飲料

(57) 【要約】

本発明は、肉をベースとする濃縮飼料を製造するための方法に関する。本発明はまた、本発明方法により得られる肉をベースとする濃縮飼料、肉をベースとする動物用飲料、肉食動物系ペット用の飼料としての肉をベースとする動物用飲料の使用、ならびに肉をベースとする濃縮飼料および/または肉をベースとする動物用飲料のパッケージング単位に関する。

【選択図】なし

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

肉をベースとする濃縮飼料(1)を製造するための、下記を特徴とする方法：

- a．飼料原料を製造するためのカッター(5)に、少なくとも、+25 以下の温度を有する下記の成分、すなわち肉類のうち少なくとも1種類の構成要素を装填する、
- b．それらの成分を切断して含水率30重量%～60重量%の飼料原料にする、
- c．場合により、飼料原料を含水率5重量%～40重量%になるまで乾燥させる、
- d．場合により乾燥させた飼料原料を0.5mm～5mmのサイズの粒子に破碎する、そして
- e．乾燥させた飼料原料の粒子を、1種類以上の増粘剤、特にグアーガム、カルボキシメチルセルロース、キサンタン、カラゲナンおよびデンプンの群から選択されるものと混合して、肉をベースとする濃縮飼料(1)を得る。

10

【請求項 2】

工程b)による切断の後、工程c)によって場合により乾燥させる前に、飼料原料を場合により押出により成形する、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

成分を完全または部分的に凍結した状態で使用することを特徴とする、請求項1または2に記載の方法。

【請求項 4】

成分をカッター(5)に装填する前に、それらを1以上の有孔ディスク(4)に導通することにより破碎することを特徴とする、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

20

【請求項 5】

飼料原料を製造するための成分に切断前に、野菜および/または穀類および/またはパレイショおよび/またはグリセロールを添加することを特徴とする、前記請求項のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 6】

飼料産業で慣用される添加剤、特に矯味矯臭剤、天然または合成の色素、不活化酵母または酵母エキス、植物のエキスおよび/または濃縮物、保存剤、糖類、および/または機能性成分を添加することを特徴とする、前記請求項のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 7】

家禽脂肪などの脂肪を吹き付けた、肉をベースとする濃縮飼料(1)を、肉骨粉およびスィートホエーパウダーの混合物とブレンドすることを特徴とする、前記請求項のいずれか1項に記載の方法。

30

【請求項 8】

請求項1～7のいずれか1項に記載の方法により得られる、肉をベースとする濃縮飼料(1)。

【請求項 9】

請求項1～7のいずれか1項に記載の方法により得られる肉をベースとする濃縮飼料(1)、または請求項8に記載の肉をベースとする濃縮飼料(1)を、液体と混合することにより得られる、肉をベースとする動物用飲料。

40

【請求項 10】

液体が水またはミルクである、請求項9に記載の肉をベースとする動物用飲料。

【請求項 11】

pH値5.0～6.5を有する、請求項9または10に記載の肉をベースとする動物用飲料。

【請求項 12】

肉食動物系ペット用の飼料としての、請求項9～11のいずれか1項に記載の肉をベースとする動物用飲料の使用。

【請求項 13】

飼料が完全飼料またはスナックとして作成された、請求項12に記載の使用。

50

【請求項 14】

飼料をイヌまたはネコの飼料として使用する、請求項 12 または 13 に記載の使用。

【請求項 15】

請求項 8 に記載の肉をベースとする濃縮飼料(1)および/または請求項 9 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の肉をベースとする動物用飲料のパッケージング単位であって、パッケージ容積内に請求項 8 に記載の肉をベースとする濃縮飼料(1)および/または請求項 9 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の肉をベースとする動物用飲料と一緒に、あるいはパッケージングの追加コンパートメント内に別個に、肉食動物系ペット用の飼料、たとえばドライフードを収容していることを特徴とするパッケージング単位。

【発明の詳細な説明】

10

【技術分野】

【0001】

本発明は、肉をベースとする濃縮飼料を製造するための方法に関する。本発明はさらに、本発明方法により得られる肉をベースとする濃縮飼料、肉をベースとする動物用飲料、肉食動物系ペット用の飼料としての肉をベースとする動物用飲料の使用、ならびに肉をベースとする濃縮飼料および/または肉をベースとする動物用飲料のパッケージング単位に関する。

【背景技術】

【0002】

ペットとして飼育されている肉食動物、たとえばイヌおよびネコは、種に適した食事を与えられていないことがしばしばある。

20

自然界では、これらの動物種は主に獲物を食べ、すなわち動物タンパク質を肉の形で摂取する。

【0003】

肉食動物用の飼料製品を製造する際には、高いタンパク質含量と同時に低い炭水化物含量を備えていることが栄養生理学的に適切である。

主食としてドライフード(乾燥飼料)、セミモイストフード(半生飼料)またはモイストフード(生飼料)の形で与える主飼料のほかに、主飼料を選択的に強化するために使用するスナックまたは飼料補助製品に対する消費者の需要も増加している。

【発明の概要】

30

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

種に適した食事を与えられていない肉食動物には、特に代謝性疾患に対する高い罹患率の問題がある。したがって、肉食動物には栄養生理学的に適切な、かつ天然の餌肉に類似する飼料を与えるべきである。

【0005】

したがって、たとえば通常与えられている飼料を選択的に強化するために、またはたとえば特別な場合、たとえば特定のペット疾患の場合にも単独飼料として与えることができる飼料を提供することが好ましい。

【0006】

40

最適な栄養摂取のほかに、主に水による日常の水分摂取の最適化にも注目した状況も考えられる。さらに - 水が特に著しく塩素添加された地域では - 飼料の受入れを高め、同時にその飼料により動物に液体を供給するために、水の代わりに他の液体、たとえばネコ用ミルクなどと混合できる飼料を提供することが望ましい可能性がある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

この目的は、肉をベースとする濃縮飼料を製造するための、下記の方法により達成される：

a . 飼料原料を製造するためのカッターに、少なくとも、+25 以下の温度を有する下記の成分、すなわち肉類のうち少なくとも 1 種類の構成要素を装填する、

50

b. それらの成分を切断して含水率30重量%~60重量%の飼料原料にする、
 c. 場合により、飼料原料を含水率5重量%~40重量%になるまで乾燥させる、
 d. 場合により乾燥させた飼料原料を0.5mm~5mmのサイズの粒子に破碎する、
 そして

e. 乾燥させた飼料原料の粒子を、1種類以上の増粘剤、特にグアーガム、カルボキシメチルセルロース、キサンタン、カラゲナンおよびデンプンの群から選択されるものと混合して、肉をベースとする濃縮飼料を得る。

【0008】

ある態様において、工程b)による切断後の飼料原料を、工程c)の前に、たとえば押出により成形する。

意外にも、本発明方法は、水、牛乳、およびいわゆるネコ用ミルク - すなわち、ネコに使用することを意図した製品 - などの液体の添加後に、肉食動物系ペットが特に良好に受け入れる動物用飲料に調製できる濃縮飼料を提供することが見出された。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】図1は、本発明による肉をベースとする濃縮飼料を製造するための模式図を示す。

【発明を実施するための形態】

【0010】

肉をベースとする濃縮飼料は、飼料原料または濃縮飼料の総重量に対して少なくとも30重量%の含量の肉を含有する濃縮飼料を表わすと解釈される。

“肉”は、新鮮であるかまたは適切な方法で保存された屠殺した陸上温血動物のあらゆる肉部分、および陸上動物体の飼料加工可能なあらゆる加工産物を表わすと解釈される。

【0011】

有利な態様において、飼料原料の肉含量は、30重量%~95重量%、好ましくは40重量%~80重量%、より好ましくは60重量%~70重量%である。この態様は肉をベースとする動物用飲料または製造された肉をベースとする濃縮飼料を動物が特に好んで摂取するという点で有利であり、その際、肉含量の増加に伴って受入れはさらに増す。

【0012】

有利な態様において、飼料原料を製造するための成分は-18 ~ +7 の温度をもつ。この態様は、飼料原料に含まれるタンパク質が分解して、結合した飼料原料が得られるまでに必要な切断時間がわずかに約5~15分、たとえば約5~10分であるという点で有利である。したがって、この方法は、消費する必要がある時間およびエネルギーに関して特に経済的である。この切断により、この態様ではその温度が約15 に達した飼料原料が得られる。

【0013】

“カッター”および“切断する”は、本発明において、カッターに入れた構成要素が微細化および超微細化されることを意味すると解釈される。すなわち、粒度分布は10mm~0.1mmの範囲またはそれより小さい。切断は、可能な限り多数の細胞の細胞膜が損傷を受けて微細な均質素材が得られるプロセスを特徴とする。対応する“カッター”は当業者に既知である。このプロセスでは、少なくとも60rpm、たとえば少なくとも200rpm、たとえば少なくとも2860rpmの速度で刃を使用する。これにより、切断中に少なくとも部分的なタンパク質変性が起きる。

【0014】

さらなる有利な態様において、たとえば氷の添加または冷却素子によるカッターの冷却により追加冷却を行なって、到達する最高温度が約5 になるようにする。生成する飼料原料の最高温度が約5 では、そのテクスチャーが特に均質である。

【0015】

飼料原料の含水率は、有利には40重量%~50重量%、または50重量%~60重量%、たとえば54重量%~60重量%であってよい。この40重量%~50重量%の含水

10

20

30

40

50

率の飼料原料を使用する利点は、 - 乾燥させなければならない場合 - 乾燥工程を短く維持でき、それにより主に肉をベースとする飼料中の栄養素を可能な限り最大限に保持できることである。

【0016】

飼料原料の成形を行なう場合、これは押出により実施できる - すなわち生成物に含有される水分の急速蒸発により生成物の構成要素を破断する熱処理、および同時にノズルを通した圧出により特定の形状を得ることによる。

【0017】

原則として、飼料原料の成形は熱を用いない手段によっても実施でき、その場合、飼料原料を次いでスチームトンネルに通さなければならない。

さらなる有利な態様において、場合により成形した飼料原料を5重量%~40重量%の含水率になるまで乾燥させるのは、特に50~200の範囲の温度で行なわれる。50~200の温度範囲では、5重量%~40重量%の含水率になるのに必要な時間と乾燥に必要なエネルギーとの間に好ましい関係がある。

【0018】

場合により成形した飼料原料を5重量%~40重量%の含水率になるまで乾燥させるのは、有利には80~90の温度範囲でも実施できる。意外にも、この温度範囲では経済的に有利な乾燥と本発明による肉をベースとする濃縮飼料の栄養素含量との関係が最も好ましいことが見出された。

【0019】

例えば、場合により成形した飼料原料を、場合により成形した飼料原料がたとえば約10重量%~25重量%、特に約12重量%の含水率になるまで乾燥させることができる。場合により成形した飼料原料の含水率が約12重量%で、本発明方法の後続の粉碎プロセスによって特に均質な粉碎結果が得られる。

【0020】

さらなる有利な態様において、飼料原料を製造するための成分を完全または部分的に凍結した状態で使用する。意外にも、その際、そのような飼料原料は1種類以上の増粘剤を添加すると必要な混合時間が特に短く、そのため特に経済的であることが見出された。

【0021】

さらなる有利な態様において、飼料原料を製造するための成分をカッターに装填する前に、それらを1以上の有孔ディスクに導通することにより破碎する。その際、切断プロセス前に破碎することによってより均質な飼料原料が得られ、その結果、切断プロセスを過度に延長する必要がなく、したがって動物タンパク質が可能な限り好ましい状態で保持されることが見出された。

【0022】

さらなる有利な態様において、飼料原料を製造するための成分に切断前に、野菜および/または穀類および/またはパレイショおよび/またはグリセロールを添加する。これらのさらなる飼料構成要素は、飼料原料の粘着性が少ないのでより加工しやすいという意味で、より良好な飼料加工技術を提供する。意外にも、飼料原料を製造するための成分に切断プロセス前に上記のさらなる飼料構成要素を添加することにより、飼料原料の粘着性を低減できることが見出された。

【0023】

さらなる有利な態様において、飼料産業で慣用される添加剤を添加する。特に、それらは矯味矯臭剤、天然または合成の色素、不活化酵母または酵母エキス、植物のエキスおよび/または濃縮物、保存剤、糖類、および/または機能性成分である。機能性成分は、たとえばプロバイオティックであるが、ビタミン、無機質、オメガ-3脂肪酸、プロバイオティック食物繊維、およびプロバイオティック微生物でもあると解釈される。

【0024】

本方法には保存剤、たとえばソルビン酸カリウムを使用できる。たとえば、ソルビン酸カリウムを飼料原料の総重量に対して0.1重量%~1重量%の濃度で使用できる。ソル

10

20

30

40

50

ピン酸カリウムを飼料原料の総重量に対して約 0.5 重量%の量で添加すると、約 15 ~ 18 か月の、本発明による肉をベースとする濃縮飼料の最小保存寿命が得られる。

【0025】

有利には、結合剤、たとえばカラゲナン、ゼラチン、寒天またはペクチンを用いる必要がない。乳製品またはそれらのタンパク質を用いる必要もない。これは、乳製品または乳タンパク質に対する不耐性の可能性に関して有利である。

【0026】

本方法において、家禽脂肪などの脂肪を吹き付けた、肉をベースとする濃縮飼料を、有利には肉骨粉（ミートアンドボーンミール）およびスイートホエーパウダーの混合物とブレンドすることができる。この態様の利点は、特有のフレーバーが得られ、その結果、動物用飲料、またはたとえば液体と混合した濃縮飼料が、特に良く受け入れられることである。

10

【0027】

本発明による肉をベースとする濃縮飼料は、本発明に従った方法により得られる。

本発明による肉をベースとする動物用飲料は、本発明方法により製造した濃縮飼料を、水またはミルク、特に牛乳、およびいわゆるネコ用ミルク - すなわち、ネコに使用することを意図した製品 - などの液体と混合することにより得られる。

【0028】

肉をベースとする動物用飲料は、なめらかまたはクリーミーなコンシステンシーをもつことができる。動物は - それらの種に関係なく - 肉をベースとする動物用飲料の許容コンシステンシーに関して異なる反応をする可能性があることが見出された。

20

【0029】

本発明による肉をベースとする動物用飲料は、有利には pH 値 5 ~ 6.5 をもつ。この pH 値をもつ飼料は、殊に微生物学および栄養生理学的に肉食動物に特に適している。

本発明によれば、本発明の肉をベースとする動物用飲料は、イヌまたはネコなどの肉食動物系ペットのための飼料、たとえば完全飼料として、またはスナックとして用いられる。

【0030】

本発明によれば、さらに、本発明による肉をベースとする濃縮飼料および/または本発明による肉をベースとする動物用飲料のパッケージング単位が提供され、そのパッケージング単位は、パッケージ容積内に本発明による肉をベースとする濃縮飼料および/または本発明による肉をベースとする動物用飲料と一緒に、あるいはパッケージングの追加コンパートメント内に別個に、肉食動物系ペット用の飼料、たとえばドライフードを収容している。

30

【0031】

前記の方法により、飼料原料の総重量に対して少なくとも 30 重量%、好ましくは 30 重量% ~ 95 重量%、より好ましくは 40 重量% ~ 80 重量%、たとえば 60 重量% ~ 70 重量% がもつばら肉、たとえば干し肉 - 場合により粉碎して粉末にした肉 - からなる、新規な肉をベースとする濃縮飼料が得られる。

【0032】

本発明による肉をベースとする濃縮飼料を色素で着色することができる。この処置は動物の飼い主による製品の受け入れをさらに高めることが示された。

40

【実施例】

【0033】

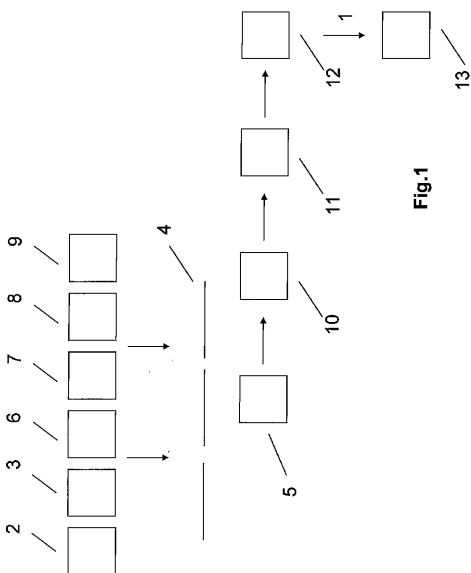
以下に、本発明を実施例によってさらに詳細に記載する；それは可能な態様を説明するためのものにすぎず、決して本発明を限定することはない。

1 つの図である図 1 は、本発明による肉をベースとする濃縮飼料を製造するための模式図を示す。まず、“肉”類成分をカッター 5 に入れる。これらの成分は容器 2 および場合により 3（たとえば異なる動物種の肉について別個の容器を用意する場合）に入れてあり、そこからカッター 5 へ運ばれる。そのほか、肉成分に添加することができる野菜 6 また

50

は穀類 7 またはバレイショ 8 またはグリセロール 9 のためのさらなる容器もある。4 はカッター 5 の上流にある有孔ディスクを表わし、少なくとも飼料原料を製造するための肉成分を破碎するために用いられる。カッター 5 の後、飼料原料は押出のために押出機 10 へ送られる。押出機 10 から、成形された飼料原料は 11 で示した乾燥機内へ供給される。それにミル 12 が接続しており、それはたとえば押し出された乾燥飼料原料を粉碎して 0.5 mm ~ 5 mm の平均サイズをもつ粒子にする。たとえば、粒状の乾燥した飼料原料に、チューブ (図 1 には示されていない) によりさらなる容器 (同様に図 1 には示されていない) から増粘剤が供給される。最終製品、すなわち肉をベースとする濃縮飼料 1 は、さらに仕上げユニットおよび / または包装ユニット (ここではまとめて 13 により示す) へ運ばれる。

【 図 1 】



【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No PCT/EP2015/060982

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
INV.	A23K1/00 A23K1/18	A23K1/08 A23K1/10 A23K1/14 A23K1/16
ADD.		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A23K		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) EPO-Internal, BIOSIS, COMPENDEX, FSTA, WPI Data		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 5 759 598 A (GAIER WALTER [CH]) 2 June 1998 (1998-06-02) column 2, line 37 - column 4, line 43; examples 1,2	1-15
X	----- US 2005/008757 A1 (MACERI COSIMO [ES] ET AL) 13 January 2005 (2005-01-13) example	8
X	----- GB 1 549 196 A (MARS LTD) 1 August 1979 (1979-08-01) example 2	8
X	----- WO 2010/133376 A1 (GROWTH FINANCE PLUS AG [CH]; DEUERER HELMUT [DE]) 25 November 2010 (2010-11-25)	15
A	claim 1; figure 1 ----- -/--	1-14
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents :		
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "B" document member of the same patent family
Date of the actual completion of the international search 11 August 2015		Date of mailing of the international search report 18/08/2015
Name and mailing address of the ISA/ European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel: (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Saettel, Damien

1

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2015/060982

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 2011/217419 A1 (WEINBERG CHRISTOPHER ALAN [US]) 8 September 2011 (2011-09-08) example 1	1-8
A	----- EP 1 527 699 A1 (SATURN PETFOOD GMBH [DE]) 4 May 2005 (2005-05-04) claims -----	1-15

1

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2015/060982

Patent document cited in search report		Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 5759598	A	02-06-1998	AT 183887 T	15-09-1999
			AU 700099 B2	24-12-1998
			AU 2053695 A	11-01-1996
			CA 2151296 A1	30-12-1995
			DE 69420397 D1	07-10-1999
			DE 69420397 T2	23-12-1999
			DK 0689769 T3	07-02-2000
			EP 0689769 A1	03-01-1996
			ES 2137292 T3	16-12-1999
			FI 953071 A	30-12-1995
			GR 3031951 T3	31-03-2000
			JP 3564197 B2	08-09-2004
			JP H0851935 A	27-02-1996
			NZ 272412 A	27-05-1998
			US 5645877 A	08-07-1997
			US 5759598 A	02-06-1998

US 2005008757	A1	13-01-2005	EP 1430786 A1	23-06-2004
			US 2005008757 A1	13-01-2005
			WO 03017779 A1	06-03-2003

GB 1549196	A	01-08-1979	AT 361280 B	25-02-1981
			AU 505540 B2	22-11-1979
			AU 1494576 A	22-12-1977
			BE 843019 A1	16-12-1976
			CA 1068537 A1	24-12-1979
			CH 626780 A5	15-12-1981
			DE 2626996 A1	30-12-1976
			DK 271576 A	18-12-1976
			ES 449024 A1	16-11-1977
			FR 2314671 A1	14-01-1977
			GB 1549196 A	01-08-1979
			IE 42863 B1	05-11-1980
			IT 1071485 B	10-04-1985
			JP S5213877 A	02-02-1977
			JP S5941695 B2	09-10-1984
			LU 75181 A1	26-01-1977
			NO 761992 A	20-12-1976
			SE 423964 B	21-06-1982

WO 2010133376	A1	25-11-2010	DE 102009032712 A1	25-11-2010
			DE 212010000014 U1	27-12-2011
			EP 2432330 A1	28-03-2012
			US 2012244260 A1	27-09-2012
			WO 2010133376 A1	25-11-2010

US 2011217419	A1	08-09-2011	US 2009004328 A1	01-01-2009
			US 2011217419 A1	08-09-2011

EP 1527699	A1	04-05-2005	AT 354968 T	15-03-2006
			DE 10351569 A1	16-06-2005
			EP 1527699 A1	04-05-2005

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2015/060982

A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES		
INV. A23K1/00 A23K1/18	A23K1/08 A23K1/10 A23K1/14 A23K1/16	
ADD. Nach der Internationalen Patentklassifikation (IPC) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPC		
B. RECHERCHIERTE GEBIETE		
Recherchierter Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) A23K		
Recherchierte, aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) EPO-Internal, BIOSIS, COMPENDEX, FSTA, WPI Data		
C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	
	Betr. Anspruch Nr.	
X	US 5 759 598 A (GAIER WALTER [CH]) 2. Juni 1998 (1998-06-02) Spalte 2, Zeile 37 - Spalte 4, Zeile 43; Beispiele 1,2	1-15
X	US 2005/008757 A1 (MACERI COSIMO [ES] ET AL) 13. Januar 2005 (2005-01-13) Beispiel	8
X	GB 1 549 196 A (MARS LTD) 1. August 1979 (1979-08-01) Beispiel 2	8
X	WO 2010/133376 A1 (GROWTH FINANCE PLUS AG [CH]; DEUERER HELMUT [DE]) 25. November 2010 (2010-11-25)	15
A	Anspruch 1; Abbildung 1	1-14
	-/--	
<input checked="" type="checkbox"/> Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen <input checked="" type="checkbox"/> Siehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen :		
"A" Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht als besonders bedeutsam anzusehen ist		
"E" frühere Anmeldung oder Patent, die bzw. das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist		
"L" Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelhaft erscheinen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt)		
"O" Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht		
"P" Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist		
"T" Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist		
"X" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung nicht als neu oder auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden		
"Y" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist		
"Z" Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der internationalen Recherche	Absendedatum des internationalen Recherchenberichts	
11. August 2015	18/08/2015	
Name und Postanschrift der Internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Bevollmächtigter Bediensteter Saettel, Damien	

Formblatt PCT/ISA/210 (Blatt 2) (April 2005)

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen PCT/EP2015/060982

C. (Fortsetzung) ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
A	US 2011/217419 A1 (WEINBERG CHRISTOPHER ALAN [US]) 8. September 2011 (2011-09-08) Beispiel 1 -----	1-8
A	EP 1 527 699 A1 (SATURN PETFOOD GMBH [DE]) 4. Mai 2005 (2005-05-04) Ansprüche -----	1-15

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Angaben zu Veröffentlichungen, die zur selben Patentfamilie gehören

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2015/060982

Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument	Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie	Datum der Veröffentlichung
US 5759598	A	02-06-1998	AT 183887 T 15-09-1999
			AU 700099 B2 24-12-1998
			AU 2053695 A 11-01-1996
			CA 2151296 A1 30-12-1995
			DE 69420397 D1 07-10-1999
			DE 69420397 T2 23-12-1999
			DK 0689769 T3 07-02-2000
			EP 0689769 A1 03-01-1996
			ES 2137292 T3 16-12-1999
			FI 953071 A 30-12-1995
			GR 3031951 T3 31-03-2000
			JP 3564197 B2 08-09-2004
			JP H0851935 A 27-02-1996
			NZ 272412 A 27-05-1998
			US 5645877 A 08-07-1997
US 5759598 A 02-06-1998			
US 2005008757	A1	13-01-2005	EP 1430786 A1 23-06-2004
			US 2005008757 A1 13-01-2005
			WO 03017779 A1 06-03-2003
GB 1549196	A	01-08-1979	AT 361280 B 25-02-1981
			AU 505540 B2 22-11-1979
			AU 1494576 A 22-12-1977
			BE 843019 A1 16-12-1976
			CA 1068537 A1 24-12-1979
			CH 626780 A5 15-12-1981
			DE 2626996 A1 30-12-1976
			DK 271576 A 18-12-1976
			ES 449024 A1 16-11-1977
			FR 2314671 A1 14-01-1977
			GB 1549196 A 01-08-1979
			IE 42863 B1 05-11-1980
			IT 1071485 B 10-04-1985
			JP S5213877 A 02-02-1977
			JP S5941695 B2 09-10-1984
			LU 75181 A1 26-01-1977
			NO 761992 A 20-12-1976
			SE 423964 B 21-06-1982
WO 2010133376	A1	25-11-2010	DE 102009032712 A1 25-11-2010
			DE 212010000014 U1 27-12-2011
			EP 2432330 A1 28-03-2012
			US 2012244260 A1 27-09-2012
			WO 2010133376 A1 25-11-2010
US 2011217419	A1	08-09-2011	US 2009004328 A1 01-01-2009
			US 2011217419 A1 08-09-2011
EP 1527699	A1	04-05-2005	AT 354968 T 15-03-2006
			DE 10351569 A1 16-06-2005
			EP 1527699 A1 04-05-2005

フロントページの続き

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード(参考)
A 2 3 K 10/35 (2016.01)	A 2 3 K 10/35	
A 2 3 K 20/105 (2016.01)	A 2 3 K 20/105	
A 2 3 K 20/179 (2016.01)	A 2 3 K 20/179	
A 2 3 K 10/16 (2016.01)	A 2 3 K 10/16	
A 2 3 K 10/26 (2016.01)	A 2 3 K 10/26	
A 2 3 K 10/28 (2016.01)	A 2 3 K 10/28	
A 2 3 K 20/158 (2016.01)	A 2 3 K 20/158	
A 2 3 K 40/00 (2016.01)	A 2 3 K 40/00	

(81) 指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(72) 発明者 ハンス - ユルゲン・ドイアラ

ドイツ国 7 5 0 1 5 プレッテン, トウルバンシュトラッセ 4

F ターム(参考) 2B005 AA02 AA03 AA04

2B150 AA06 AB03 AB10 AC24 AE18 AE19 AE29 AE34 AE44 AE45
 AE46 AE49 BA01 BD06 BE01 BE02 BE04 CC13 CD02 CD06
 CD10 CE00 CE01 CE16 CJ08 DA35 DA37